

# ロボット手術編

Hayasaka Report 2013.5



東京都議会議員

## 早坂よしひろレポート

発行

都議会  
自民党

「生命と財産を守るのが政治の使命」といわれる。これが災害時なら「防災」で平時なら「医療」だ。そこで都民のいのちを守る最先端医療について報告する。

**早坂** 本日は渡辺剛先生にお話を伺います。世界の最先端医療である「ロボット心臓手術」をわが国で唯一、行うドクターです。早速ですが、ロボット手術とは、ロボットが全自动で手術をしてくれるのでしょうか。

**渡辺** (笑) ロボットとはいいますが、正確には内視鏡手術を遠隔操作で行うこと指します。体の表面に小さな穴を開けて、そこから内視鏡を挿入するのです。医師の感覚からすると、まるで自分の肩から先が、患者さんの体内に入ったような感じです。細かい操作が正確にできることと、高性能カメラで肉眼よりもはつきり見える点で優れています。将来的には早坂さんのおつしやるとおり、ボタンひとつで、たとえば血管同士を縫い合

わせるような定型的な手術ができるようになると想います。

**早坂** ロボット手術の、最大の長所は何ですか。

**渡辺** 傷口が圧倒的に小さく、それによって患者さんの体の負担が少ないことです。直径1センチのストローみたいな管を3~4本、体に刺して、そこからはさみやカメラを入れて手術するので、今までのように体を大きく切らずに済みます。また骨や神経や血管を切らずに済むので、出血も少なく、痛みがないのが特長です。

**渡辺** 手術の翌日、回診に行くと、患者さんがベッドにいない。どこかなど探しにいない。ホールでくつろいでいるのです。「先生、本当に手術したの」といわれ、大笑いになりました。従来型の心臓手術ではありえないことです。

**早坂** それはすごいですか。  
**早坂** 一方で、ロボット手術には、どんな短所がありますか。



渡辺 剛  
× 早坂よしひろ

**渡辺 剛**さん／金沢大学心肺総合外科教授。  
わが国で唯一、ロボット心臓手術を行う。  
watago6633@gmail.com

バックナンバーをご希望の方はご一報ください。

〈2011年3月号〉高齢者の住まい編

〈2012年1月号〉緩和医療編

〈2012年3月号〉被災地の復興編

〈2012年7月号〉オリンピック編

〈2013年3月号〉首都直下地震編

東邦大学病院医師  
大津秀一さん

明治大学大学院教授  
青山俊さん

オリンピック写真家  
岸本健さん



胃カメラですら患者を苦しめる

**渡辺** 良い機械ですが、大変高額です。3億円くらいします。ですから病院の負担は大変です。維持費も年間1000万円くらいかかります。現時点では、前立腺手術以外には、健康保険が効きません。私の心臓手術でも保険が効きませんので、患者さんの負担は高額になります。厚生労働省の医療機器認可のスピードなども含めて、今後の課題でしよう。

**早坂** 渡辺先生は、どうしてロボット手術に魅せられたのですか。



ロボット手術の現場 操作台

**早坂** 都議会本会議で、末期がん患者の緩和医療を取り上げたことがあります。その時に痛感したのは、医療の究極の目的は、ただ生きている時間を延ばすことではなく「生活の質」を高いレベルに保つことにあるということです。

**渡辺** そう、誰でも限りある命。手術を機に、これから的人生を考えるはずです。手術を終えた患者さんを長期間、病院にしばりつけておいてよい訳はありません。目の前の苦痛や不安を取り除き、一日も早く普通の暮らしに戻つていただく。そしてベッドの上で考えた様々な夢を、実現していく。その応援も、

**早坂** きつとそういう日が来るでしょう。ただしどんなにロボットが進歩しても、患者さんと医師との関係は決して変わるものではありません。ロボットは道具にすぎず、私たち医師が人を診ることに変わりはないからです。

**早坂** 本日は本当にありがとうございました。

# 入院中のベッドで考えた夢を叶えるための支援も、医療の大切な目的です。

ともできるかもしません。海外だけでなく、東京の離島のへき地医療にも、有効です。

の一部を治すだけなのに、どうして胸を30センチも切らなければならぬのかと、ずっと疑問でした。内視鏡手術を導入していないのは、心臓外科と脳外科だけでしたので、その研究を続けていたのです。「ダ・ヴィンチ」というロボットが発表された時「これで心臓手術は変わる」と確信しました。

**渡辺** そう、誰でも限りある命。手術を機に、これから的人生を考えるはずです。手術を終えた患者さんを長期間、病院にしばりつけておいてよい訳はありません。目の前の苦痛や不安を取り除き、一日も早く普通の暮らしに戻つていただく。そしてベッドの上で考えた様々な夢を、実現していく。その応援も、

**プロフィール**

- 昭和43年 萩窪の東京衛生病院生まれ（44才）
- 西田幼・西田小・松渕中卒業、大検合格
- 立教大学法学部（北岡伸一ゼミ）卒業
- 働きながら明治大学公共政策大学院（青山俊ゼミ）修了
- 防災情報機構NPO法人事務局次長として全国講演
- 平成17年 東京都議会議員に初当選（現在2期目）
- 東京都議会防災議連幹事、日本防災士会東京都支部長
- 明治大学客員研究員
- 災害調査
- 米国 ハリケーンカトリーナ、中国 四川大地震 他、国内外多数。

東日本大震災では発災当日に被災地入りし、支援活動を行う。



**早坂よしひろ**  
ミスター防災



皆さまのご意見をお寄せ下さい。

早坂よしひろ事務所：〒167-0051 杉並区上荻1-11-5-505 ☎03(3220)0411 hello@tokyo-hayasaka.com